

三原市地域おこし協力隊

本郷北方地区担当 丹澤紳一郎

①自己紹介

■氏 名 : 丹澤 紳一郎

■誕生日 : 平成元年(1989年)4月 36歳

■着任日 : 2024年(令和6年)2月1日

■所 属 : 本郷北方地区

■着任前までの経験と移住経緯

- ・新築住宅(木造在来工法)施工管理 2年
- ・新築住宅(木造在来工法)構造設計 6年
- ・auショップ店員 2年



②これまでの活動(着任から現在まで)

【協力隊活動】

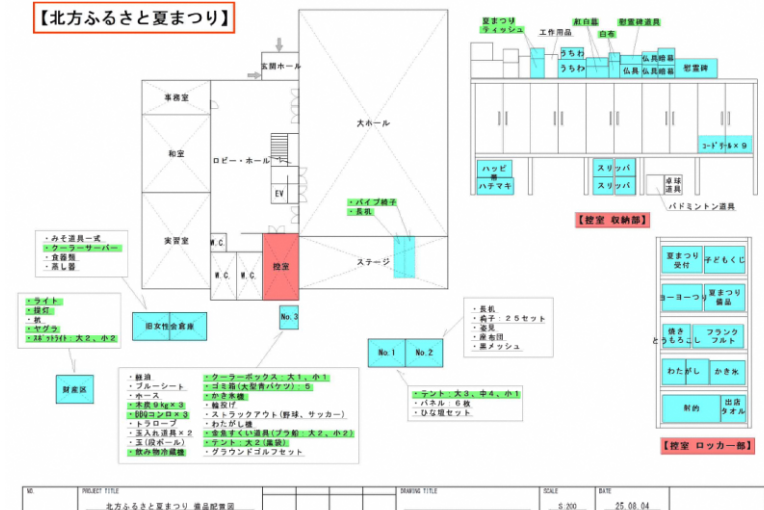
- 空き家調査
- 宇根山家族旅行村キャンプ場売店PJ: 企画、施工
- 各地域イベントの効率化、図面作成
きたがたマルシェ、北方ふるさと夏まつり
- 芝桜の里カフェ
- 後谷物件(旧BackValley)の改修

【地域活動】

- 地域イベント
とんど祭り、グラウンドゴルフ大会、コミセン推進大会
北方ふるさと夏まつり、北方区民体育大会
- 沼田本郷夏まつり
- 北方未来・ウェルカム部会
- 第4回きたがたマルシェ実行委員長
- 本谷芝桜
挿し芽作業、草刈り作業、防草シート張り作業
- 本谷いちじく: 収穫・出荷準備



【北方ふるさと夏まつり】



③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと 1

■挑戦したいこと [地域リソースマネージャー]

地域リソースマネージャーとは
地域にある資源「**ヒト**」・「**モノ**」・「**コト**」を活かして地域を盛り上げていく。

「**ヒト**」: 三原市、三原市外、北方に住んでいる人たち。

「**モノ**」: 北方で採れるもの、場所、空間。

「**コト**」: 体験。経験。人それぞれの得意なコト好きなコト。



③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと 2

■挑戦したいこと

「地域活性化」を目的として
チャレンジできる北方を作っていきたい

③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと 2

「地域活性化」を目的としてチャレンジできる北方を作っていきたい

【地域活性化している状態とは？】

1.経済が回っている

地元の産業(農業、漁業、観光、商店など)が元気で、雇用が生まれている。
外からの観光客や移住者によってお金が地域に流入している。

2.人の流れがある

外部から人が訪れたり、移住してくる人がいる。
若者や子育て世代が地域に定着している。

3.住民が主体で動いている

自治会やNPO、地域団体などの活動が活発で、住民が地域の未来に関わっている。
行政任せではなく、自分たちで地域課題を解決しようとする動きがある。

4.地域資源が生かされている

風景、文化、歴史、特産品などがうまく活用されて、魅力となっている。
外部に対して地域の「価値」を発信できている。

5.つながりと協力がある

地域内での人と人とのつながりが強く、助け合いや協力の文化がある。
外部(他地域、企業、大学など)との連携も活発。

6.子どもや高齢者が安心して暮らせる

教育、医療、福祉などの基盤が整っていて、誰にとっても暮らしやすい。

③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと 3

■挑戦したいこと

1年目

1年を通して三原市・北方地区を知る
空き家・空き地を調査し計画を立てる
立てた計画に手を付け始める



2年目

1棟完成させ
地域の価値あるものの発掘
地域活性化を目指して
継続できる事業を考える

3年目

2棟完成させる
地域の価値ある体験の発掘
1棟目を基に新たな
チャレンジを続ける



起業



④ 2025年9月に向けてのチャレンジ宣言

「地域リソースマネージャーとして
継続できる事業を考えて実行していく」

⑤2025年4月～活動報告(成果と課題)

2025年9月に向けてチャレンジ宣言

「空き家の活用を主として、地域イベントの拡大」

→【半年間の活動振り返り :65%】

この半年間のアクションを振り返ります。

1)アクションプラン：後谷物件の改修

→個別振り返り【20%】：正直、進捗は良くない。現段階では片付け・図面作成。年内完成目標で動いていく。

2)アクションプラン：地域イベントの拡大

→個別振り返り【100%】：善入寺本谷地区で芝桜を活かした「芝桜の里カフェ」を開催することができた。
多くのメディアに取り上げていただいたおかげで大盛況だった。
反省点も多くあるので次に活かしていく。

3)アクションプラン：地域と連携して空き家の調査・活用

→個別振り返り【50%】：北方未来のウェルカム部会と連携して空き家の調査をした。
まだ活用とまで至っていない。

4)アクションプラン：SNSフォロワー150名以上

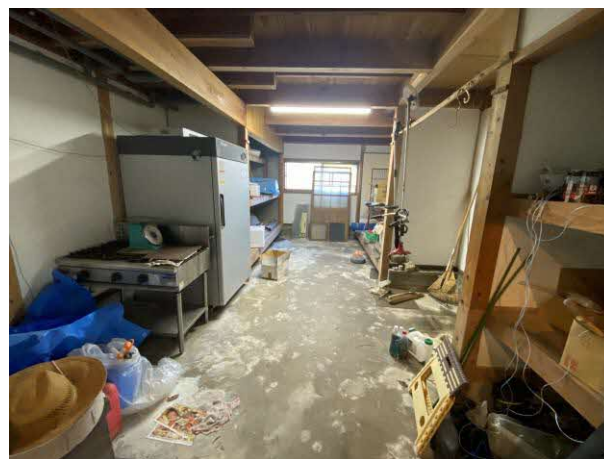
→個別振り返り【90%】：note 34人、Facebook 28人、Instagram 68人、X 5人 合計135人

⑤-1)2025年4月～活動報告(成果と課題)

1)アクションプラン:後谷物件の改修

→個別振り返り【20%】: 正直、進捗は良くない。

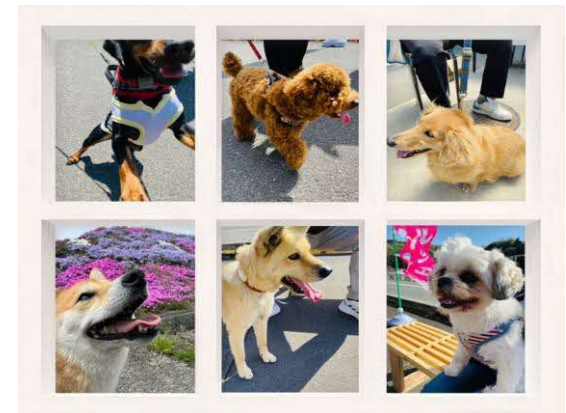
現段階では片付け・図面作成。年内完成目標で動いていく。



⑤-2)2025年4月～活動報告(成果と課題)

2)アクションプラン:地域イベントの拡大

→個別振り返り【100%】：善入寺本谷地区で芝桜を活かした「芝桜の里カフェ」を開催することができた。多くのメディアに取り上げていただいたおかげで大盛況だった。反省点も多くあるので次に活かしていく。



⑤-3)2025年4月～活動報告(成果と課題)

3)アクションプラン:地域と連携して空き家の調査・活用

→個別振り返り【50%】：北方未来のウェルカム部会と連携して空き家の調査をした。
まだ活用とまで至っていない。

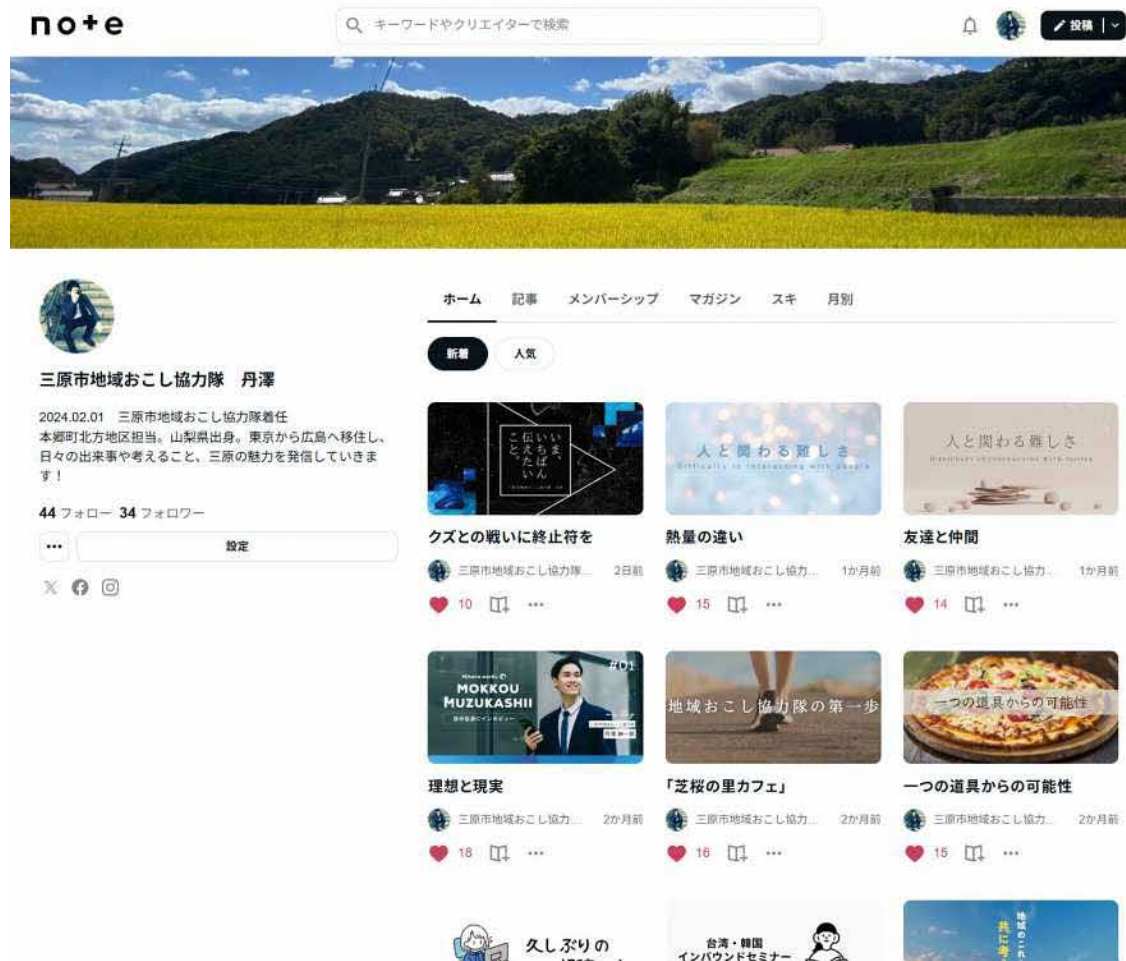


⑤-4)2025年4月～活動報告(成果と課題)

4)アクションプラン：SNSフォロワー150名以上

→個別振り返り【90%】：note 34人、Facebook 28人
Instagram 68人、X 5人

合計135人



⑦次回(2026年3月予定)個別報告会に向けて

次回活動報告会（2026年3月）に向けてチャレンジ宣言

「地域活性化を目指して
継続できる事業を考える」

⑧次回(2026年3月予定)活動報告会に向けて

次回活動報告会（2026年3月）に向けてチャレンジ宣言

「継続していける事業を考えていく」

その為に、この半年間で以下のアクションを実施します。

- 1)アクションプラン： 後谷物件の完成と営業開始
- 2)アクションプラン： 芝桜の里カフェの規模拡大
- 3)アクションプラン： 空き家を調査していき、活用案を考えていく
- 4)アクションプラン： 地域資源を活用して北方地区に変化を与える
- 5)アクションプラン： SNSの更新頻度を増やして情報発信をしていく